

比屋根湿地で見られる鳥

観察のポイント

体の色や足の長さ、何をしているのか観察してみよう。

セイタカシギ



ピンクの細長い足と白い腹が鮮やかで、“水辺のバレリーナ”の愛称があるんだよ。くちばしはまっすぐで細く長く、背は緑色で光沢のある黒色をしているんだ。成鳥(大人の鳥)は頭の部分が白いけど、若鳥は頭のとっぺんから後ろ首が黒いよ。また冬羽では色が淡くなり、腰、尾も白いんだ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

コチドリ



日本で繁殖する千鳥の中では一番小さいけど、すずめよりはやや大きいんだ。黄色い輪が目のまわりにあり、脚も黄色いよ。えさをとる時はジグザグに歩いてとるんだ(よっぱらいのチドリアシはこのへんから言われているそうだよ。)

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

ダイサギ



白いサギにはダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギがいるんだ。ダイサギは全身が真っ白で、首が長く、脚も長い。夏は頭から2本の飾りが伸びてきて、きれいだよ。

出典(写真): 沖縄市の自然より

シロチドリ



一年中見られる鳥だよ。夏は海岸の砂地に卵を産んでヒナを育てるんだ。エサ場は干潟で、ピュルピュルと鳴きながら、小さな生き物を食べているよ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

アオサギ



サギの仲間ではもっとも大きいんだよ。背は灰色で、腹は白く、飛ぶときに風切り羽が黒っぽく見えるよ。くちばしと脚は黄かっ色で黒い冠羽があり、つる類とまちがわれることがあるんだ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

ムナグロ



沖縄の冬鳥の代表だよ。羽は白、黒、黄色のまだらで、夏と冬の色がちがうんだ。冬羽のお腹は白く、夏羽は黒くなるんだ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

コガモ



県内で見ることのできるカモではもっとも小さいんだよ。全身かっ色で地味だけど、雄は栗褐色の頭で、ほほに緑色が目立ち、全身灰色に見える、下尾筒は黄色で黒のふちどりがあるよ。県内でもっとも多く飛来する鳥なんだ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

クロツラヘラサギ



全身は白色で、くちばしから目にかけての顔の部分と、脚は黒い色をしているよ。くちばしはヘラ状になっていて、えさをとる時は水の中で首を左右に振ってとるんだ。飛ぶときははばたきが早く、首と脚をのばすんだよ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

バン



方言で「クミラー」と呼ばれる鳥だよ。全体が黒っぽく脇や尾羽につけねには白いはんがあるんだ。くちばしは赤色で先端は黄色。でも、若鳥のくちばしには赤色はないんだ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所

ミサゴ



頭とのお腹、胸、腹が白く、羽を広げたら160センチにもなる大きな鳥だよ。空をぐるぐるグライダーのように飛び、水面の魚を見つけたら急降下してとるんだよ。

写真提供: 株式会社 環境保全研究所